〒398-0002　長野県大町市大町 8056-1
TEL. 0261-22-0211 FAX. 0261-21-2133
E-mail:sanpaku@city.omachi.nagano.jp
URL:http://www.omachi-sanpaku.com
市立大町山岳博物館公式 Web サイトは、
大町山岳博物館友の会の支援により博物館が運用しています。

OMACHI ALPINE MUSEUM
市立 大町山岳博物館

# 山と博物館

「山と博物館」は、大町市役所および市内社会教育施設で、設置・配布しているほか、博物館公式 Web サイトからもご覧いただけます。

**1月号**
第 61 巻　第 12 号
2017 年

無 料
Free

もくじ

**今月の 1 枚** …… 1ページ
・「飼育ライチョウが逃げた事故について」
・長野県環境保全研究所信州自然講座
　「生物多様性の宝庫、北アルプス北部の今とこれから」実施
**さんぱく研究最前線 ― 北アルプスの自然と人 トピックス ―** …… 2～3ページ
・「登山計画書と入山届（登山届）に関した考察」（抜粋）
**博物館のひろば＆イベントのお知らせ** …… 4ページ
・企画展「雷鳥～四季を纏う神の鳥～　高橋広平写真展」 ミュージアムトーク
・第３回　カルチャーツアー
・西小学校４年生２クラス・八坂小学校４年生１クラス　理科連携授業
・スバールバルライチョウ消化管内容物の滞留時間測定調査
・付属園の臨時休園

博物館施設案内
はこちら

## 飼育ライチョウが逃げた事故について

搜索中のメス

平成28年12月10日（土）９時20分頃に山岳博物館で飼育していたライチョウが飼育舎から逃げ出しました。清掃作業開始時に飛翔したライチョウが排煙窓の開閉ヒモに接触したことが原因と考えられ、窓が開いて雌雄２羽が外へ逃げてしまいました。

この度は皆様に多大なるご迷惑とご心配をお掛けしてしまい、大変申し訳ございませんでした。また、捜索にご協力いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。

皆様のご協力により、オスは12月10日の14時18分頃に保護することができました。しかし、メスは見つかっておらず、ボランティアの方々と博物館職員で現在も捜索を続けています。

ライチョウを見かけた方は博物館（電話：0261-22-0211）までご連絡ください。また、発見した際には、静かに見守っていただき、遠く（約10m以上）から観察して職員が到着するのをお待ちください。よろしくお願いいたします。

（市立大町山岳博物館）

## 長野県環境保全研究所信州自然講座「生物多様性の宝庫、北アルプス北部の今とこれから」の開催

大町の里から見える山は多様性に富んでいます

宮野　典夫

長野県環境保全研究所と大町山岳博物館は、両機関のもつ研究、人材等の総合力を発揮して、山岳環境の保全についての重要な役割を果たすため、平成26年3月に連携・協力に関する協定を締結し、研究や教育普及活動を実施しています。

「信州自然講座」は環境保全研究所の主催により県内各地で開催している研究の状況や成果発表の場です。今回は大町市および大町市教育委員会の共催により、12月3日にサン・アルプス大町にて行いました。当日は約120人の方々が講座に耳を傾けました。

内容は後立山連峰の成り立ちと地表の様子、白馬連山の高山植物を事例とした生物多様性スポット、将来の北アルプスの雪について、北アルプスに迫るニホンジカの登山ルート推定の発表が環境保全研究所からありました。山岳博物館からは、現在実施しているライチョウの域外保全の取り組みについて発表しました。

いずれの発表も大町市周辺に関した内容でしたので参加者の関心も高く、熱心に聴講する姿が印象的でした。

（市立大町山岳博物館　指導員）

# さんぱく最前線　－2016年10月～12月掲示－

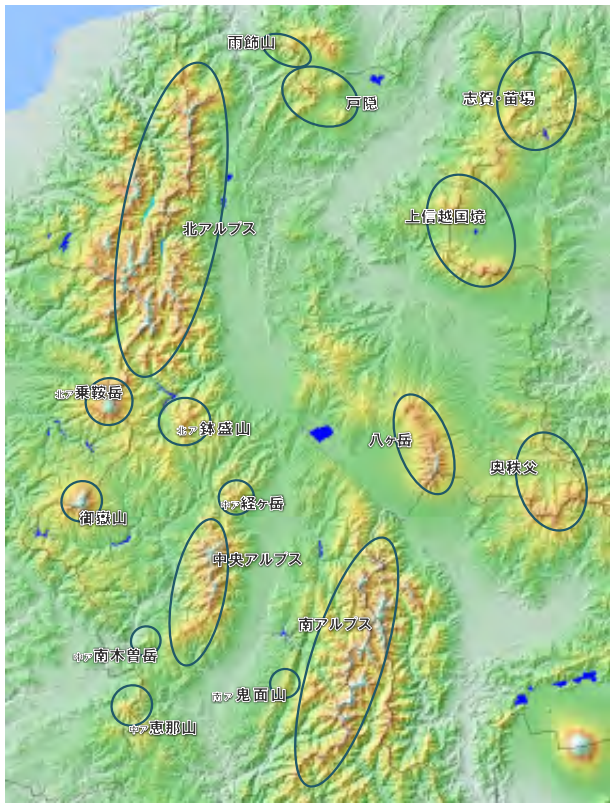
## 「登山計画書と入山届（登山届）に関した考察」（抜粋）

平成28年７月１日から、長野県安全登山条例が施行されました。

この条例は増え続ける山岳遭難に歯止めを掛けるべく何年もの検討を経て実施に移されたものです。

登山者に安全に登山を楽しんでもらうため、いくつかの指針を掲げていますが、特に注目されているのは指定された登山道を通行する際の「登山計画書提出の義務化」です。

この登山計画書について考察してみます。




▲指定登山道のある山域＝登山計画書義務対象の山域

＊小さく北ア、中ア、南アと記載されている山は指定登山道のグループ分けとしての表示。

### 登山計画書って何のため？

登山を楽しく、安全に行う。登山は装備・体力などを含め不足があれば、不都合ですしアクシデントにもつながります。

それらを防ぎ、軽減するために変更を含めた対応策を何度かシミュレーションし、作り上げた物が登山計画書となります。このことを机上登山とも言い結構楽しい作業の一つと言えます。

登山計画書を作成し、参加者全員が予定や緊急時の方策を理解していることで安全でスムースな登山が可能となってきますし、事前に計画が家族や職場などに伝わっていることは重要です。

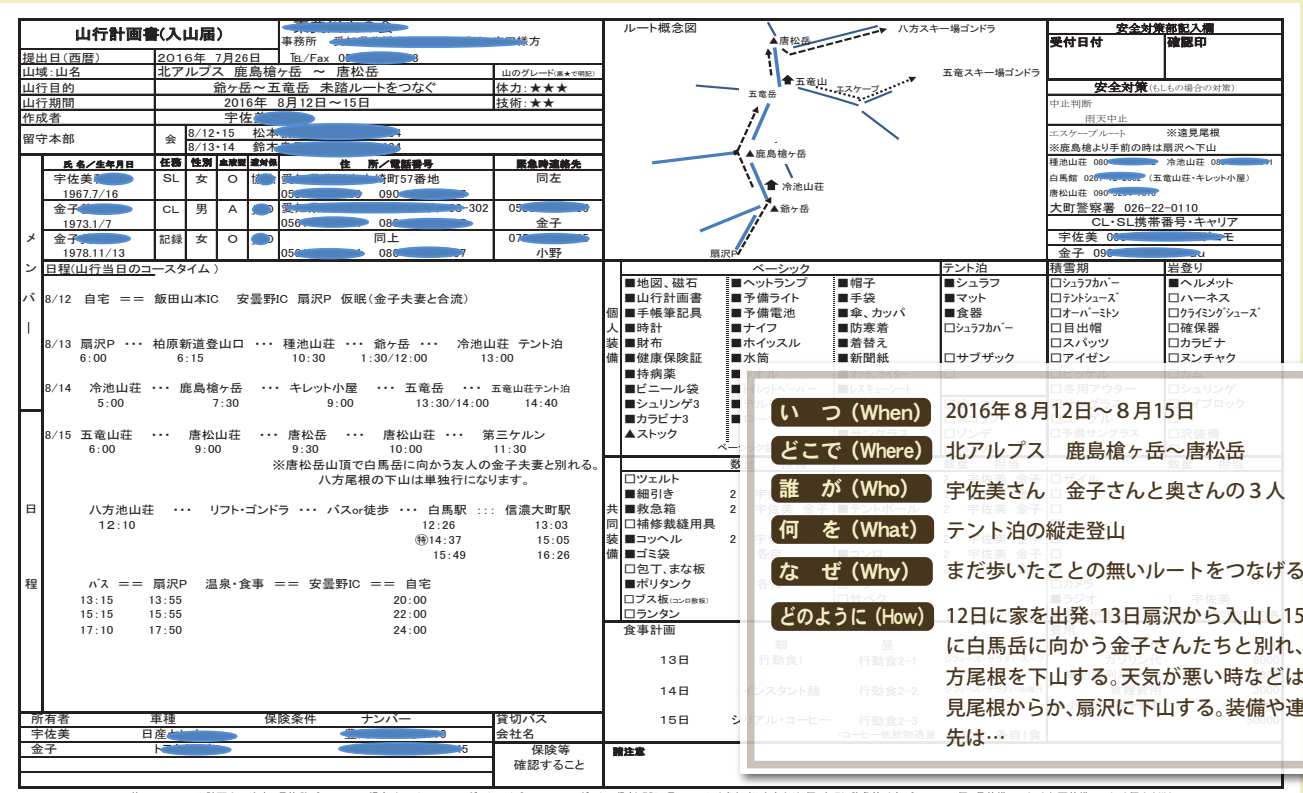
なぜなら、予定の日を過ぎても帰ってこないことを心配する家族や職場の方々からの連絡が捜索の始まりとなるからです。

### 登山計画書って何を書くの？

５ｗ１ｈという原則があります。「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「なぜ」「どのように」という、第３者に的確な情報伝達を行うポイントです。

社会人山岳会の計画書例から 5w1h を抜き出してみます。

**社会人山岳会での例**



山行計画書(入山届)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 提出日(西暦) | 2016年　7月26日 | 事務所 | 様方 |
| 山域：山名 | 北アルプス　鹿島槍ヶ岳　～　唐松岳 | Tel/Fax | |
| 山行目的 | 鈴ヶ岳～五竜岳　未踏ルートをつなぐ | 山のグレード(黒★で明記) 体力：★★★ | |
| 山行期間 | 2016年　8月12日～15日 | 技術：★★ | |
| 作成者 | 宇佐 | | |
| 留守本部 | 会　8/12・15　松本 / 8/13・14　鈴木 | | |

| | 氏 名／生年月日 | 性別 | 血液型 | 遺対保 | 住　所／電話番号 | 緊急時連絡先 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| メンバー | 宇佐美 1967.7/16 | SL | 女 | O | 崎町57番地 / 090 | 同左 |
| | 金子 1973.1/7 | CL | 男 | A | 302 / 056 08 | 金子 |
| | 金子 1978.11/13 | 記録 | 女 | O | 同上 / 056 08 | 小野 |

日程(山行当日のコースタイム)

8/12　自宅 == 飯田山本IC　安曇野IC　扇沢P　仮眠(金子夫妻と合流)

8/13　扇沢P ・・・ 柏原新道登山口 ・・・ 種池山荘 ・・・ 鈴ヶ岳 ・・・ 冷池山荘　テント泊
6:00　6:15　10:30　1:30/12:00　13:00

8/14　冷池山荘 ・・・ 鹿島槍ヶ岳 ・・・ キレット小屋 ・・・ 五竜岳 ・・・ 五竜山荘テント泊
5:00　7:30　9:00　13:30/14:00　14:40

8/15　五竜山荘 ・・・ 唐松山荘 ・・・ 唐松岳 ・・・ 唐松山荘 ・・・ 第三ケルン
6:00　9:00　9:30　10:00　11:30
※唐松岳山頂で白馬岳に向かう友人の金子夫妻と別れる。
八方尾根の下山は単独行になります。

八方池山荘 ・・・ リフト・ゴンドラ ・・・ バスor徒歩 ・・・ 白馬駅 ::: 信濃大町駅
12:10　12:26　13:03
㊡14:37　15:05
15:49　16:26

バス == 扇沢P　温泉・食事 == 安曇野IC == 自宅
13:15　13:55　20:00
15:15　15:55　22:00
17:10　17:50　24:00

| 所有者 | 車種 | 保険条件 | ナンバー | 貸切バス会社名 |
|---|---|---|---|---|
| 宇佐美 | 日産 | | | |
| 金子 | ト | | 5 | 保険等確認すること |

ルート概念図



安全対策部記入欄

| 受付日付 | 確認印 |
|---|---|
| | |

安全対策(もしもの場合の対策)

中止判断
雨天中止
エスケープルート　※遠見尾根
※鹿島槍より手前の時は扇沢へ下山
種池山荘 080　冷池山荘 08
白馬館 026
唐松山荘 090
大町警察署 026-22-0110
CL・SL携帯番号・キャリア
宇佐美 0　モ
金子 090

| 個人装備 | ベーシック | | | テント泊 | 積雪期 | 岩登り |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | ■地図、磁石 | ■ヘットランプ | ■帽子 | ■シュラフ | □シュラフカバー | ■ヘルメット |
| | ■山行計画書 | ■予備ライト | ■手袋 | ■マット | □テントシューズ | □ハーネス |
| | ■手帳筆記具 | ■予備電池 | ■傘、カッパ | ■食器 | □オーバーミトン | □クライミングシューズ |
| | ■時計 | ■ナイフ | ■防寒着 | □シュラフカバー | □目出帽 | □確保器 |
| | ■財布 | ■ホイッスル | ■着替え | | □スパッツ | □カラビナ |
| | ■健康保険証 | ■水筒 | ■新聞紙 | □サブザック | □アイゼン | □スンチャク |
| | ■持病薬 | | | | | |
| | ■ビニール袋 | | | | | |
| | ■シュリンゲ3 | | | | | |
| | ■カラビナ3 | | | | | |
| | ▲ストック | | | | | |

| 共同装備 | | |
|---|---|---|
| | □ツエルト | |
| | ■細引き | 2 |
| | ■救急箱 | 2 |
| | □補修裁縫用具 | |
| | ■コッヘル | 2 |
| | ■ゴミ袋 | |
| | □包丁、まな板 | |
| | ■ポリタンク | |
| | □ブス板(コンロ敷板) | |
| | □ランタン | |

食事計画
13日
14日
15日

備考

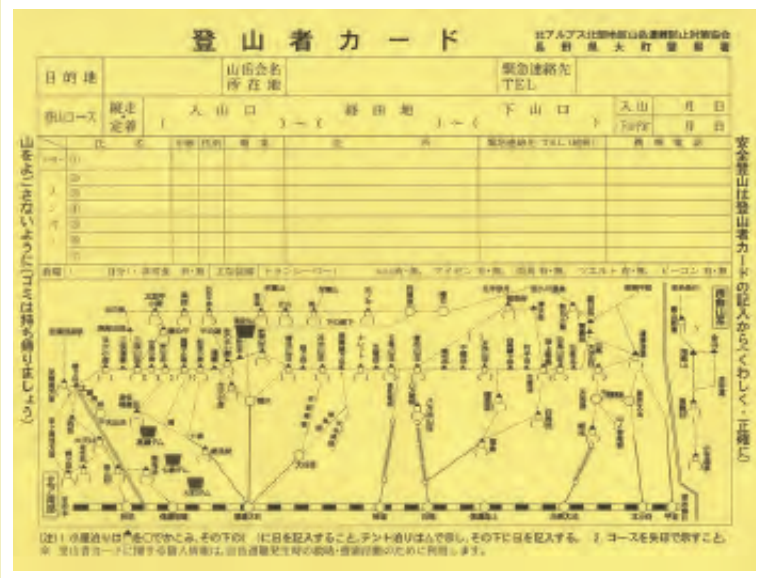
修正20160521※計画上の注意　①複数パーティーの場合はCL(チーフリーダー)PL(パーティーリーダー)の役割明記　②ツエルトは参加者4名あたり1個　細引・救急箱は各パーティー1個　③装備　■印は必要装備　▲印は個人判断

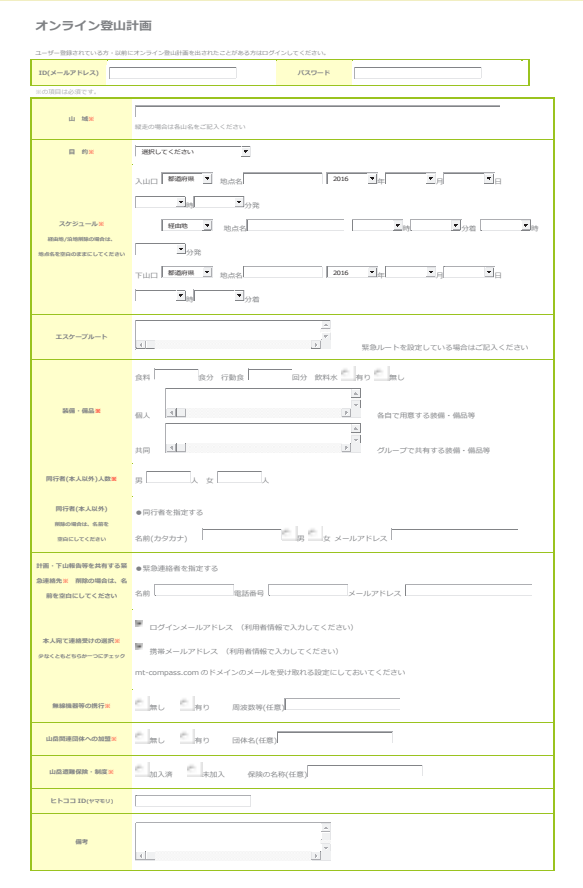
| | |
|---|---|
| い　つ（When） | 2016年８月12日～８月15日 |
| どこで（Where） | 北アルプス　鹿島槍ヶ岳～唐松岳 |
| 誰　が（Who） | 宇佐美さん　金子さんと奥さんの３人 |
| 何　を（What） | テント泊の縦走登山 |
| な　ぜ（Why） | まだ歩いたことの無いルートをつなげる |
| どのように（How） | 12日に家を出発、13日扇沢から入山し15日に白馬岳に向かう金子さんたちと別れ、八方尾根を下山する。天気が悪い時などは遠見尾根からか、扇沢に下山する。装備や連絡先は… |

**山岳博物館　市民「無料」開放デー**

博物館では、毎月第３日曜日（家庭の日）とその前日の土曜日を「大町市民無料開放デー」としています（これらの日については、大町市民以外の長野県民は団体割引料金でご覧いただけます）。１月は14日（土）と15日（日）です。

登山口等での登山届 ▼▶




▲インターネットによる登山届例

※掲示スペースの関係から、今回インターネット例に対する考察は行わず、次の機会としています。

登山口やインターネットでの届は「登山計画書」「登山者カード」「登山届」の名称となっています。統一はなく、各地区の遭難防止対策協会や警察署で適切と判断した名称を使っているようです。内容は登山者の氏名などの情報、行動予定、非常時の対応策、装備となっており救助に必要な情報の記載と言えます。

入山口での記入ですから、忙しく書き込んで提出する。というのが実情でしょうし、また提出してしまうので本人や家族の手元には残りません。

社会人山岳会の例では行動予定時間、装備、食糧計画など前もって把握をしていますので、忘れ物などを避け、山の中でも現在位置の把握や予定地への到着時間も分かっており、また、調理の時も迷うことなく対応ができ、全体の行動もスムーズに行えます。

また、今後の登山計画作成の参考にもなります。

どちらも、自分の登山のために作った計画書ですが、登山全体を安全に、円滑に行おうという計画書と、救助をしてもらうことに絞った届出書的なものに分けることが出来ます。

## なぜ義務化されたの？

登山計画書の作成と提出は登山者の基本的ルールとされ、登山計画書・届の提出を求める呼びかけが行われていました。

しかし、遭難者の多くが計画書・届の未提出者であるという現実が義務化に向かわせたと言えます。

さらに2014年９月27日の御嶽山噴火災害で被災者の把握に困難を極めたことが、登山計画書提出条例化に向かう大きなきっかけとなりました。

## 終わりに

登山届の提出は、登山者の基本的責務と言えます。登山届は計画書にはなりませんが、登山計画書はそのまま登山届以上の働きをします。

登山口に備え付けの届出的なものより、事前に練り上げた計画書が自分にとっても万一の救助要請のためにも有効であることは間違いありません。

また、指定された山域以外では登山計画書・届が不要なのではなく、義務という「行政の縛りがない」だけと捉え、登山のたびごとに本来の登山計画書の作成と届けを行いたいものです。

（市立大町山岳博物館　指導員　　西田　均）

# 博物館のひろば

つぎの方は、年間を通じて博物館の観覧料が無料です。
・大町市内在住の 65 歳以上の方
・大町市内の小学校・中学校に通う児童・生徒の方
（入場の際、受付にてお名前等をご記入ください）

## 企画展「雷鳥～四季を纏う神の鳥～高橋広平写真展」ミュージアムトーク

平成28年11月3日（木・祝）実施

企画展「雷鳥～四季を纏う神の鳥～高橋広平写真展」の２回目となるミュージアムトークを11月３日（木・祝）午前（10時～）と午後（２時～）に開催しました。

参加された皆さんは、高橋さんのライチョウへの想いや撮影秘話などのお話に熱心に耳を傾けてくださいました。

写真展は、11月27日（日）で終了となりましたが、すでに来年度の写真展開催に向け準備が進められているとのことです。詳しくは、作者のホームページをご覧の上、会場へ足を運んでいただき、ライチョウを通して日本の高山環境に興味関心をさらに高めていただければと思います。

## 第３回　カルチャーツアー

平成28年11月5日（土）実施

紅葉の盛りの秋日和に、カルチャーツアー（大町市産業観光部観光課主催）が実施されました。25人の参加者のみなさまとご一緒に、ガイド役として、大町の地形・地質見学に参加しました。

ツアーでは、「北アルプス・安曇野・東山の生いたち― 20万年の旅」をテーマに、大町を東西に横断して、河岸段丘・巨大地すべり・おばけ礫・北アルプスの地形などを見学しました。

最後に、市役所会議室で、20万年以上にわたる大町の山河の歴史を各自６枚の立体絵図に描いて、ツアーをまとめました。

見学でみつけた証拠から推理小説の謎解きをするような、自然史ツアーを楽しむことができました。

## 西小学校４年生２クラス・八坂小学校４年生１クラス 理科連携授業

平成28年11月10日（木）・11月29日（火）実施

常設展示や収蔵資料を活用した小学校の理科の授業を近年では毎年実施しています。11月には市内の小学校２校の児童が博物館に来て学芸員による授業を受けました。

４学年の理科の単元「人の体のつくりと運動」には動物の骨格や筋肉を調べる課題があり、ニホンカモシカの骨格標本をスケッチしながら、人や他の動物との違いを学習していただきました。また、「生き物のくらし」の単元ではニホンカモシカやライチョウの四季の移ろいに合わせた体や行動の変化について解説し、環境にあわせた生物の生活について学習していただきました。

## スバールバルライチョウ消化管内容物の滞留時間測定調査

平成28年11月7日（月）～９日（水）

付属園ではライチョウの飼育技術確立のために、近縁亜種であるスバールバルライチョウのメス３羽を飼育しています。飼育技術の確立には、基礎的な生理・生態学的な知見が必要不可欠ですが、まだまだ分かっていないことが多くあり、その疑問をスバールバルライチョウを活用して解決しています。未解明なことの１例として、食べた物がいつ糞として出てくるのか？という疑問があります。

そこで、京都府立大学の牛田一成教授のグループと共同でスバールバルライチョウを用いた消化管内容物の滞留時間の測定を行いました。実際の方法として、分析用の化学物質入りペレットを朝に給餌し、その後48時間に排出された糞を定期的に回収しました。今後、回収した糞を分析し、どの時間にどの程度の化学物質が排出されたか調べることによって、滞留時間が分かります。

飼育を行っていると、糞の乱れが観察されることがありますが、この調査によって消化管内の滞留時間が分かるので、その糞がどの時間に食べた餌かということが容易に判断でき、ライチョウ類の健康管理の質が高くなることが考えられます。

## 付属園の臨時休園

平成28年12月3日（土）～平成29年2月28日（火）

山岳博物館の付属園では、動植物の飼育栽培施設の整備を行う予定です。

11月15日～17日に、旧マーモット舎の解体と整地工事（写真手前）を行い、その場所に仮設の倉庫を置き、飼料や飼育用具・工具を納めます。その後、倉庫群（写真奥）を解体しますので、平成29年２月末日まで付属園を臨時休園します。

なお、高病原性鳥インフルエンザの発生が各地でみられていることから、工事着工前の12月３日から付属園への立ち入りを制限させていただいています。

ご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。

編集・発行
市立大町山岳博物館 OMACHI ALPINE MUSEUM
― 創立 1951 年 ―

〒398-0002　長野県大町市大町 8056-1
市立大町山岳博物館　編集責任者　鳥羽章人
TEL. 0261-22-0211　FAX. 0261-21-2133
✉ E-mail:sanpaku@city.omachi.nagano.jp
URL:http://www.omachi-sanpaku.com

1月号
第 61 巻　第 12 号
2017 年

発行日　2016（平成 28）年 12 月 25 日

印　刷　有限会社北辰印刷
〒398-0002 長野県大町市大町 3871-1
TEL.0261-22-3030　FAX.0261-23-2010